



1958年12月1日創立 国際ロータリー 第2730地区

# 鹿児島南ロータリークラブ

2023-2024年度 国際ロータリーテーマ 2023-2024年度 RI第2730地区テーマ  
「世界に希望を生み出そう」「平和を求め、希望あふれる、明るいロータリーライフを進めよう」

週報

Vol.66 No.21

令和6年(2024年)

1月24日

2023-2024年度 クラブのスローガン 「**広げよう友の輪、楽しもうロータリー**」

姉妹クラブ: 台湾高雄東 RC 友好クラブ: フィンランド ロヴァニエミ・サンタクロース RC ドイツ カールシュタット・アルンシュタイン RC 宮城県多賀市 多賀城 RC

会長: 柳元 尚喜 会長エレクト: 盛澤 篤司 会長ノミニ: 直井 圭介 幹事: 杉原 浩

2023-2024年度 RI会長 ゴードン・マッキナリー

2023-2024年度 RI第2730地区ガバナー 池ノ上 克(宮崎RC)

市内グループガバナー補佐 A: 瀧川 英憲(鹿児島城西RC) B: 有川 達也(鹿児島RC)

【事務所】  
〒890-0062 鹿児島市与次郎1丁目8-10  
TEL:099(254)1117 FAX:099(254)1119  
E-mail:south-rc@po.minc.ne.jp  
【例会日】毎週水曜日 12:30~13:30  
【例会場】サンロイヤルホテル

Rotary **【第3086回例会】第6回クラブ協議会(上期報告・下期計画)**

**令和6年1月19日 第3085回例会**

## 鹿児島市内 RC 新春合同例会

日時: 2024年1月19日(金)

進行: 鹿児島大学アカデミーRCSAA 問世田吉宣

1. 点鐘 鹿児島大学アカデミーRC 会長 岩元正孝
2. 国歌斉唱「君が代」
3. ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」
4. ゲスト紹介並びに会長挨拶  
鹿児島大学アカデミーRC 会長 岩元正孝
5. ゲスト卓話 鹿児島市長 下鶴隆央
6. 乾杯 乾杯挨拶  
市内Bグループガバナー補佐 有川達也  
～ 会食 ～
7. 出席報告  
鹿児島大学アカデミーRC 幹事 加治屋勝子
8. ガバナー挨拶 RI2730 地区ガバナー 池ノ上克
9. 閉会の辞 鹿児島西 RC 会長 有村春房
10. ロータリーソング「手に手つないで」
11. 点鐘 鹿児島大学アカデミーRC 会長 岩元正孝

## 池ノ上ガバナーのご挨拶

皆様、明けましておめでとうございます。コロナ禍を乗り越え、平和を求め、希望あふれる、明るいロータリーライフを進める新たな年を迎えられたことと存じます。



この度は、鹿児島市内ロータリークラブ新春合同例会にお声掛けいただき、誠にありがとうございました。

国際ロータリーは奉仕活動を大切にしています。各クラブの標準定款には五大奉仕部門の記載がありますが、第一にクラブ奉仕があり、次いで職業奉仕が挙げられています。そして社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕と続きます。中でもクラブ奉仕と職業奉仕の充実がロータリー活動の基本であり、立派な職業人の集まる楽しいクラブ作りが重要です。クラブ奉仕と職業奉仕をしっかり行うためには、会員同士の親睦を計り、お互いを理解し合うことは重要な要素になります。

この度 RID2730 地区 68 カ所のクラブをガバナーとして訪問させていただきましたが、同行した宮崎ロータリークラブの会員達は、訪問クラブ先での懇談会、例会、フォーラムなどに同席することで、今まで知らなかったロータリーに関する新たな情報や知識を得ることができたと実感しているようです。

自分が所属するクラブ内だけでなく、様々なクラブのロータリーフェローとの間でロータリーを語る機会となる、本日の鹿児島市内ロータリークラブ新春合同例会の趣旨に、ガバナーとしてもまた宮崎ロータリークラブの一会員としても、感謝を申し上げたいと思います。

クラブ訪問、地区大会が終了したとはいえ、ガバナーとしての任期はまだ半分残っています。皆様の更なるご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 鹿児島大学アカデミーRC 岩元会長のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。私は鹿児島大学アカデミーロータリークラブの岩元です。パンデミックの逆噴射がやっと終了したと思ったら、元旦の天災、2日の人災が発生しました。緊張感をもって2024年を過ごせということだと思います。



鹿児島市内 12 クラブの新年例会ゲストを紹介します。鹿児島市長の下鶴隆央様、国際ロータリー2730 地区ガバナー池ノ上克様にご臨席頂いています。後ほど卓話とスピーチをいただきます。

2023-2024 ロータリー年度はゴードン R マッキナリー会長の元「世界に希望を生み出そう」をテーマに掲げ、メンタルヘルス、バーチャル交換を通じた平和構築、女兒のエンパワーメントに取り組んできました。

さて 2023 年は急なコーナーを廻ったような感じがします。デフレからインフレへ、円安の定着、ワーカー不足、国際紛争のエスカレート、自然災害の激甚化など多くの問題に直面しました。

今回の年始の挨拶では、特にウクライナ問題、パレスチナのハマスの問題、そして対話型 AI の登場が社会に与えるインパクトについて触れてみたいと思います。

まず、ウクライナ問題。冷戦後の米国の書いた世界秩序は完全に終了しました。新しい秩序を求めて世界は漂流します。回避しないと第三次世界大戦の危機が迫ります。私たちは国際社会として、平和的な解決策を模索し、安定と調和を取り戻すために協力する必要があります。

また、窮鼠猫を噛むハマスのテロ問題も深刻です。中東地域での緊張や紛争は地域全体に影響を及ぼし、人類にとって脅威となっています。国際社会は、対話と協力によって持続可能な解決策を見つけ出すために努力を重ね、対立を和らげる道を模索しなければなりません。

そして、対話型 AI の登場がもたらす社会へのインパクト